

監査報告第 11 号

平成14年3月19日

財政援助団体等監査結果報告

〔財団法人神戸市公園緑化協会〕

神戸市監査委員	近	谷	衛	一
同	寺	坂	光	夫
同	田	路	裕	規
同	平	野	章	三

地方自治法第199条第7項の規定に基づき実施した平成13年度財政援助団体等監査について、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり決定した。

1 監査の対象

財団法人神戸市公園緑化協会（以下「協会」という。）における出納その他の事務で、主として平成12年度執行の事務

2 監査の期間

平成13年12月13日～平成14年3月19日

3 監査の方法

監査は、出納その他の事務が法令等に基づき適正に行われているかについて、関係書類の調査とともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

4 団体の概要

(1) 設立の趣旨

協会は、神戸市の公園緑地事業の発展振興を図り、あわせて、市民の保健、慰楽及び教育文化の向上に寄与することを目的として、昭和38年7月に任意団体として発足し、昭和43年5月に財団法人の許可を受けた。なお、平成8年4月に財団法人神戸王子動物園協会と統合している。

(2) 事業の概要

協会及び主な事業所の所在地は、第1表のとおりである。

主な事業は、第2表のとおりである。

第 1 表 協 会 等 の 所 在 地

事業所	所在地
協会（事務所）	須磨区緑台（神戸総合運動公園管理センター2階）
相楽園	中央区中山手通5丁目3-1
花と緑のまち推進センター	中央区諏訪山町2-8
須磨離宮公園	須磨区東須磨1-1
森林植物園	北区山田町上谷上字長尾1-2
布引公園（ハーブ園）	中央区葺合町字山郡
動物園事業部	灘区王子町3丁目1-1
神戸総合運動公園事業部	須磨区緑台

第 2 表 比 較 業 務 量

項 目		平成12年度	平成11年度	
緑化事業の啓発	生垣等緑化助成	助成件数	26件	32件
	生垣化助成	助成団体数	15団体	14団体
	ベランダ緑化助成	助成団体数	8団体	5団体
	まちなみ飾花助成	入園者数	88,000人	50,000人
	花のフェスタこうべの開催	入園者数	41,000人	54,000人
	グリーンフェスタこうべの開催	助成団体数	24団体	20団体
公園施設等の管理運営 運動施設	テニスコート	利用件数	8か所24,431件	6か所21,405件
	野球場	利用件数	11か所7,608件	3か所2,415件
	球技場	利用件数	5か所3,286件	4か所3,187件
都市公園 相楽園	都市基幹公園等の維持管理		11か所347.2ha	10か所331.2ha
	庭園、会館の管理運営 1.8ha	入園者数	79,116人	76,241人
花と緑のまち 推進センター	花壇管理（花のプロムナード花壇、ふれあい花壇）		38か所	38か所
	緑化相談業務	相談件数	7,097件	7,685件
	ガーデニング教室の開催	受講者数	3,168人	2,821人
須磨離宮公園	公園の管理運営 82.6ha	入園者数	256,301人	231,748人
	駐車場使用料徴収業務	駐車場利用台数	25,241台	29,088台
森林植物園 布引ハーブ園	植物園の管理運営 142.6ha	入園者数	239,511人	235,795人
	公園の管理運営 16.0ha	入園者数	470,978人	540,364人
動物園事業	入園料徴収業務	有料入園者数	810,284人	359,781人
		（総入園者数）	(1,987,590人)	(985,484人)
	駐車場使用料徴収業務	駐車場利用台数	180,952台	103,445台
	動物園科学資料館の運営管理	入館者数	715,529人	340,513人
		図書室利用者数	3,764人	3,453人
	動物とこどもの国ふれあい業務	利用者数	156,726人	113,534人
	子ども動物相談及びテレホンサービス業務	総相談件数	11,506件	11,827件
神戸総合運動公園	運動競技施設等の管理運営			
	ユニバー記念競技場	利用日数	73日	73日
	グリーンスタジアム神戸	利用日数	151日	148日
	グリーンアリーナ神戸	利用日数	275日	257日
	球技場	利用日数	211日	243日
	テニスコート16面	利用件数	13,989件	15,468件
附帯事業の経営 駐車場事業	常設駐車場、臨時駐車場		35か所	28か所
		駐車場利用台数	1,326,947台	1,219,155台
飲食店等経営事業	レストラン、軽食喫茶、売店	店舗数	28店	27店

(注) グリーンアリーナ神戸の利用日数は、補助体育館の利用日数を含まない。

(3) 本市との関係

協会の基本財産は、平成12年度末現在2,400万円であり、本市は1,200万円出捐している。

平成12年度は、補助金として、公園緑地事業に8億1,684万円、民有地緑化推進事業に325万円を交付している。また、公の施設の管理委託料として、17億313万円を支出しているが、その主な内訳は、有料公園等管理運営業務に11億1,983万円、都市公園等管理運営業務に4億889万円である。

このほか、花壇管理業務、相楽園会館管理業務等を委託している。

平成12年度末における職員数は274人であり、そのうち本市派遣職員は93人である。

(4) 経営状況と財政状態

協会の会計は、企業会計方式を適用しており、消費税処理は税抜処理である。

ア 経営状況

経営状況は、第3表のとおりである。

第 3 表 比 較 損 益 計 算 書

(単位 金額：千円)

科 目		平成 12 年度	平成 11 年度	対前年度
		金 額	金 額	増 減
収 益 の 部	事業収入	4,651,958	4,459,503	192,455
	受託事業収入	2,063,260	2,188,923	△ 125,663
	補助金収入	816,844	820,237	△ 3,393
	公益事業収入	104,361	25,620	78,741
	収益事業収入	1,667,494	1,424,723	242,771
	事業外収入	69,637	64,155	5,482
	受取利息	1,652	2,038	△ 386
	雑収入	23,103	22,416	687
	取崩収入	44,882	39,647	5,235
	有価証券売却益	—	54	△ 54
当期収益合計(A)		4,721,595	4,523,659	197,936
費 用 の 部	事業費用	1,254,014	1,083,906	170,108
	緑化推進事業費	4,928	7,785	△ 2,857
	緑化啓発費	31,848	37,906	△ 6,058
	施設利用促進費	30,443	34,769	△ 4,326
	スポーツ振興費	45,545	54,202	△ 8,657
	動物愛護事業費	21,063	17,163	3,900
	21世紀復興記念事業費	85,830	—	85,830
	その他の事業費	1,034,357	932,082	102,275
	管理費用	3,449,797	3,414,720	35,077
	人件費	1,755,639	1,780,036	△ 24,397
	管理費	1,694,158	1,634,684	59,474
	事業外費用	3,721	4,412	△ 691
固定資産除却損失	77	4,069	△ 3,992	
雑損	3,644	342	3,302	
当期費用合計(B)		4,707,532	4,503,038	204,494
経常利益(C=A-B)		14,063	20,621	△ 6,558
税引前当期利益(D)		14,063	20,621	△ 6,558
法人税等(E)		7,858	8,872	△ 1,014
当期利益(F=D-E)		6,206	11,748	△ 5,542
前期繰越利益(G)		4,850	3,102	1,748
当期未処分利益(H=F+G)		11,056	14,850	△ 3,794
経常収支比率(A/B×100)		100.3	100.5	△ 0.2

(注) 金額は、千円未満を四捨五入している。

イ 財政状態

財政状態は、第4表のとおりである。

第 4 表 比 較 貸 借 対 照 表

(単位 金額：千円)

科 目	平成12年度末	平成11年度末	対前年度 増 減
	金 額	金 額	
資 産	1,380,688	1,337,102	43,586
I 流 動 資 産	1,296,796	1,245,043	51,753
1 現 金	80,205	34,981	45,224
2 預 貯 金	984,451	1,007,251	△ 22,800
3 売 掛 金	23,344	23,243	101
4 未 収 入 金	174,551	145,469	29,082
5 立 替 金	740	2,305	△ 1,565
6 前 払 費 用	12,851	14,388	△ 1,537
7 商 品	20,654	17,405	3,249
II 固 定 資 産	83,892	92,060	△ 8,168
1 有 形 固 定 資 産	78,119	86,116	△ 7,997
2 無 形 固 定 資 産	173	173	0
3 投 資 等	5,600	5,770	△ 170

科 目	平成12年度末	平成11年度末	対前年度 増 減
	金 額	金 額	
負債・正味財産	1,380,688	1,337,102	43,586
負 債	1,240,387	1,203,007	37,380
I 流 動 負 債	1,150,108	1,105,696	44,412
1 未 払 費 用	862,089	836,268	25,821
2 未 納 消 費 税	8,576	12,469	△ 3,893
3 預 り 金	259,485	230,743	28,742
4 前 受 金	3,048	4,041	△ 993
5 賞 与 引 当 金	9,052	13,302	△ 4,250
6 納 税 充 当 金	7,858	8,872	△ 1,014
II 固 定 負 債	90,279	97,311	△ 7,032
1 預 り 保 証 金	41,623	41,413	210
2 退 職 給 与 引 当 金	48,656	55,898	△ 7,242
正 味 財 産	140,301	134,096	6,205
I 正 味 財 産	140,301	134,096	6,205
1 基 本 財 産	24,000	24,000	0
2 法 定 準 備 金	200	200	0
3 退 職 積 立 金	8,045	8,045	0
4 別 途 積 立 金	97,000	87,000	10,000
5 当 期 未 処 分 利 益	11,056	14,850	△ 3,794
(うち当期利益)	(6,206)	(11,748)	(△ 5,542)

(注) 1 平成12年度末の有形固定資産の減価償却累計額は、170,666千円である。

2 金額は、千円未満を四捨五入している。

5 監査の結果

経営面は、販売収入の増等により収益事業収入が増加したものの、受託事業収入が減少したこと等により、当期利益は前年度に比べ減少している。

事業面では、都市公園、テニスコート、野球場等の公園施設等を管理運営するとともに、緑化啓発事業として「花のフェスタこうべ」・「グリーンフェスタこうべ」の開催、生垣化の助成等を行っている。また、公園を訪れる市民のために、駐車場、売店、レストラン等を経営するなど、幅広く公園緑地事業の発展振興を図っており、設立の目的に沿った運営がなされ、その役割を果たしていると認められた。

補助事業については、補助金の交付目的を達成し、公の施設の管理運営については、条例等に従って適切に管理運営されていた。

出納その他の事務については、おおむね適正に行われているものと認められた。しかし、事務の一部について、次のような改善を要する事例が見受けられたので、今後適正な事務処理に努められたい。

- ① 事業所で保有している釣銭準備金が協会釣銭資金取扱要綱の規定額を経常的に超えている事例や要綱上の金額が定められていない事例が見受けられた。また、規定額どおりに保有している場合でも、経常的な釣銭必要額を上回っている事例が見受けられた。
適切な資金額を釣銭準備金とするように要綱を整備するとともに、要綱に基づく事務処理を行うべきである。
- ② 各事業所に交付されている使用料還付金の支払資金が、還付実績額を大幅に超えている事例が見受けられた。
各事業所の還付金支払資金は、必要額を適切に見込み、交付されたい。
- ③ 決算処理における年度末現在の現金在高の確認において、駐車場収入、入園料等預り金の在高が確認されていない。
在高を確認する処理を行うべきである。
- ④ 協会契約事務手続要綱によれば、請負工事に係る契約事務については、1件当たりの予定金額が100万円未満の契約事務についても総務課で行うこととなっているが、主管課で行われている事例が見受けられた。
要綱に基づいた事務処理を行うべきである。

- ⑤ 固定負債に預り保証金として工事契約保証金が計上されている。
1年以内に返済される工事契約保証金については流動負債に計上すべきである。
- ⑥ 現行の損益計算書では、事業毎の収支状況が明瞭となっていない。
各収益項目とそれに関連する費用項目を対応表示するなどの検討をされたい。

以上、監査の結果を述べたが、今後も、公園施設等の効率的な管理運営を行うとともに、市民に親しみと魅力のある公園づくりに努められるよう希望する。